

スマートフォン・タブレット端末でも議会中継がご覧いただけます

仙台市議会では、インターネットによる議会中継を実施しています。6月からスマートフォンやタブレット端末でも生中継・録画中継をご覧いただけるようになりました。生中継ではリアルタイムで議会の様子を、録画中継では過去2年分の録画データを公開しています。



スマートフォンでの視聴イメージ

仙台市議会 検索

手話通訳のご案内

聴覚に障害のある方が、本会議を傍聴される際に手話通訳をご利用できます。傍聴予定日の3日前(土日・祝日を除く)の正午までにお申し込みください。お申し込み・お問い合わせ 議会事務局庶務課

議員表彰

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議員会総会において、次の議員が表彰されました。特別表彰 議員在職25年以上

- 柿沼敏万 木村勝好 赤間次彦 佐藤正昭

18歳選挙権が始まりました！子ども議会(議会体験プログラム)に参加しませんか

仙台市議会では、市議会をもっと身近に感じてもらうために、小学校5年生から高校3年生までを対象とした子ども議会の参加団体を募集しています。このプログラムでは、子どもたちが実際の議場や委員会室で、議長や議員などの役割を演じながら、審議を体験し、地方議会の仕組みを学習します。

議会事務局調査課 TEL (214) 6169

宮城県沖地震等の経験を踏まえ、防災対策の検証と発信を。南海トラフ地震等に備え、被災都市の責務として、これまでの災害の教訓や防災・減災対策を検証し、今後につながる取り組みを。被災都市の責務として、これまでの災害の教訓や防災・減災対策を検証し、今後につながる取り組みを。

社民党

石川 建治 議員

代表質疑

東北各都市との連携拡充によるインバウンド推進。インバウンド観光復興対策実施計画は東北の各都市との連携が十分である。一層の経済連携を進めるとともに、MICEの共同誘致などの取り組みを求める。

民間活用により公園の活性化を図る必要があるが、現状は公園ごとの特色や資源が有効に活用されていない。解決には公園を営営するということパークマネジメントの視点を持つことが重要だ。パークマネジメント導入は必要と認識している。



JR岩切駅南北自由通路完成イメージ図

JR東日本は本市のまちづくりにおける主体の一つである。それぞれの役割分担を明確にしながら、一層の連携を図りたい。その他の主な質疑項目

市民フォーラム 仙台

小野寺 健 議員

子ども医療費助成制度の拡充に向けた取り組み。今年5月の市議会4会派による助成拡充の申し入れに対し、市長はこれまでの見解を改め、前向きな考えを示した。今後の拡充策とスケジュールを伺う。

助成制度の土台である県の補助制度の拡充方針が示され、具体的内容が秋口までに明らかになる。今後、県制度の拡充内容を見

企業の海外進出の支援強化。農業と福祉の連携・体制強化。市立病院の院内保育所の一時保育、病児保育の早期の開所を。本市の女性、高齢者などのセカンドキャリア。雇用促進策。児童相談所の職員配置と職員育成および警察との連携強化。



民間の力で公園の活性化を (仙台オクトーバーフェスト開催時の錦町公園)

民間活用により公園の活性化を図る必要があるが、現状は公園ごとの特色や資源が有効に活用されていない。解決には公園を営営するということパークマネジメントの視点を持つことが重要だ。パークマネジメント導入は必要と認識している。

誘致活動の今後の取り組み。待機児童解消に向け、預かり保育の人員費補助拡充などの支援により、私立幼稚園と3歳未満児保育との連携を促進し、就学前まで安心して通える取り組みを。インバウンドの積極的推進と台湾やタイとの相互交流拡大。リノベーションまちづくりは主体となる民間の力を最大限発揮できるように取り組みを。

子ども医療費助成制度の拡充。子どもの健全な発育、子育て家庭の経済的負担軽減のため、子ども医療費助成制度は重要な施策だ。子育てしやすい仙台を目指し、県の補助拡充にとどまらず、本市独自の水準を示すなど、助成制度拡充を自ら努力すべき。

自由民主党

跡部 薫 議員

断層による直下型大規模地震の熊本地震を教訓とし、本市でも想定される長町1利府線断層帯による地震への対策を再検証すべき。



仙台を訪れたG7各国の財務大臣、中央銀行総裁

熊本地震では多数の車中泊者発生など新たな課題も明らかになった。国の検証作業や本市派遣職員アンケート調査の結果などを踏まえ本市の地震対策を再検証し、必要な見直しを行ってほしい。その他の主な質疑項目

誘致活動の今後の取り組み。待機児童解消に向け、預かり保育の人員費補助拡充などの支援により、私立幼稚園と3歳未満児保育との連携を促進し、就学前まで安心して通える取り組みを。インバウンドの積極的推進と台湾やタイとの相互交流拡大。リノベーションまちづくりは主体となる民間の力を最大限発揮できるように取り組みを。

本党 日共産党

ふなやま 由美 議員

消費税増税に頼らない社会保障充実のための財源を。市長は、社会保障の財源確保には消費税増税しかないという認識を改め、法人税の見直しなど、応負担と累進課税の原則を費き所得の再分配機能を果たす税制への転換を国に強く求めるべき。

消費増税に頼らない社会保障充実のための財源を。市長は、社会保障の財源確保には消費税増税しかないという認識を改め、法人税の見直しなど、応負担と累進課税の原則を費き所得の再分配機能を果たす税制への転換を国に強く求めるべき。

子ども医療費助成の拡充を。県の制度拡充の内容を見定め、来年度中の拡充の実現に向けて、充実した制度とすべく、十分に検討していただきたい。

子ども医療費助成の拡充を。県の制度拡充の内容を見定め、来年度中の拡充の実現に向けて、充実した制度とすべく、十分に検討していただきたい。

公明党

小田島 久美子 議員

待機児童の解消と子育て支援施策の充実を。国の緊急施策を考慮した、本市の待機児童解消に向けた積極的な取り組みの促進と、「子どもの貧困」や「発達環境の孤立」を解決するための踏み込んだ施策の充実を求める。



待機児童解消に向けた積極的な取り組みの促進を (市内保育所の様子)

詳細は国の通知を待つ必要がある施策もあるが、国が示した緊急対策としての方針に基づき検討を進めている。また、子どもの貧困の問題等については、一歩踏み込んだ総合的な支援が必要であり、子どもの貧困に關して現在行っている実態調査などを踏まえ、より効果的な施策を検討したい。その他の主な質疑項目

誰もが選挙を身近に感じる施策。労働力確保に向けた関係団体との連携。アレクシ対応食完全実施後の学校給食の課題。西部地区のインバウンド推進。東北デスティネーション・キャンペーンへの本市の関わり。B型肝炎ワクチン接種事業の円滑な運営。円滑な消防団活動の促進。

議案に対する各会派の代表質疑の中から 主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

常任委員会 審議の概要

平成28年6月23日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣に記載しています。また、各議案名は4面の会派別議案番号一覧表をご覧ください。

市民教育委員会

第96・100・101・104号

付託された4議案のうち、第96号議案および第101号議案は賛成多数で、その他2議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

経済環境委員会

第99・103・105・106号

付託された第99号議案は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

総務財政委員会

第96・97・102号

付託された3議案のうち、第96号議案は賛成多数で、その他2議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

健康福祉委員会

第96・98号

付託された2議案は、全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

都市整備建設委員会

第99・103・105・106号

付託された4議案のうち、第99号議案は賛成多数で、その他3議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

- アウトバウンド(注1) (2面2段) 「出ていく、外向きの」の意。観光分野では自国から外国への旅行や旅行客等を意味する。対義語として、外国から自国への旅行等を指す「インバウンド」がある。

- セカンドキャリア(注2) (2面3段) 定年退職後や女性の子育て後などの第二の人生における職業のこと。
- MICE(注3) (3面2段) 企業等の会議(ミーティング)、企業等の旅行(研修旅行)、国際機関・学会等が行う国際会議(コンベンション)、展示会等(エキシビション)、イベント等を指す英単語の頭文字であり、多くの集客交流

が見込まれるビジネスイベントの総称。

- 読書通帳(注4) (4面1段) 図書館で借りた本の履歴を、専用端末で預金通帳のように印字できる通帳のこと。
- WE SCHOOL(注5) (4面2段) 対象エリアを地下鉄東西線沿線から市全体に広げた市民参加型のまちづくり事業「WEBプロジェクト」が開催する実践型の講座のこと。今年度は、メディアを活用して地域の魅力を発信する人材を育成する「メディアアクラス」等5講座が開催される。
- 中ギヤップ(注6) (4面2段) 中学校進学を契機として、学習や生活等の変化になじみず、不登校やいじめが増加するという現象。本市では、学力向上のほか、中1

ギャップ解消のため、小学校高学年で教科担任制に取り組んでいる。

- クラウドファンディング(注7) (4面4段) 起業家などが製品やサービスの開発、アイデア実現などの目的のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金を集めること。
- SSW(注8) (4面5段) スクールソーシャルワーカーのこと。いじめ、不登校などの課題に対して、専門分野だけでなく社会福祉等の教育的な知識や技術を用いて、関係機関との連携を図りながら、児童生徒の置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行う。
- みんなで備えるM.Y.発電補助金(注9) (4面6段) 仙台市防災対応小型太陽光発電機器購入補助金のこと。太陽光発電および蓄電池を組み合わせた小型機器の購入費用を一部補助する。